

性別に関係なく正しい知識を
初経教育用品の寄贈

5月21日、国際ソロプチミスト松山(西川絵美会長)から、町内の小学校5年生の児童へ「初経教育用品」が寄贈されました。これは、株式会社ユニ・チャーム(高原豪久代表取締役社長執行役員)の協力のもと、生理について正しく学び、不安の解消などを図ることを目的としています。女子児童には生理用品と初経教育冊子、男子児童には初経教育冊子が配布されます。西川会長は「自分の体を大切にしてもらい、いい未来になるように願っている」と話していました。



空の旅ヘレッツゴー!
MASA 気球&松前公園イベント大集合

松前町商工会青年部は5月16日、松前公園で子どもを対象とした気球乗船イベント「MASA 気球」を開催しました。みきゃんの形をした気球が空に浮かぶと、会場からは歓声が上がりました。そのほかにも、子どもによるダンスショーなどのステージイベントや縁日も行われ、多くの家族連れでにぎわいました。松前小学校3年生の塩屋結衣さんは「友達と乗れたから楽しかった。気球から見る太陽はきれいだった」と話していました。



叙勲で本町から3人が受章
春の叙勲

政府が4月29日付で発表した「令和8年春の叙勲」で本町から岡本靖さん、高岡亮さん、横田啓元さんが受章しました。受章者の主な経歴とコメントは下のとおりです。



85歳
元町選挙管理委員会委員長
横田 啓元さん
*旭日単光章(選挙管理事務功労)

平成20年から16年間、町選挙管理委員会委員を務め、そのうち平成28年から8年間は町選挙管理委員会委員長として活動。町の選挙に選挙公報を取り入れるなど投票率の向上に貢献しました。受章に対し「周りのサポートのおかげで受章できた。深く感謝している」と話していました。



※ 受章した3人のうち、2人を掲載しています。



*瑞宝小綬章(地方自治功労)
高岡 亮さん
元公立大学法人愛媛県立医療技術大学事務局長
73歳

昭和51年に愛媛県庁に採用され、財政、企画、農政や雇用対策など幅広い分野に携わってきました。その後、公立大学法人愛媛県立医療技術大学事務局長に就任。県民のより良い生活のために尽力しました。受章に対し「周りの人の支えがなかったら受章できなかった。人に恵まれたと思う」と話していました。

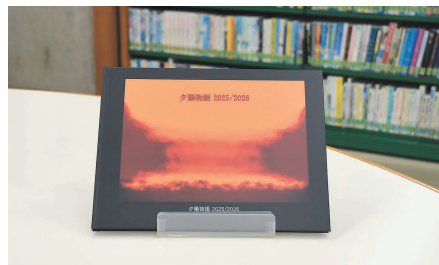
守ろう人権 なくそう差別
2026 明るい人権の町づくり大会

5月23日、「2026 明るい人権の町づくり大会」が文化センターで開催され、約330人が参加しました。開会行事では、人権・同和教育推進の指導的役割を果たしたとして、町人権教育協議会副会長の渡部敏夫さんが「人権教育協議会表彰」を受けました。続いて行われた中学生による人権発表では、部落差別に関するフィールドワークの発表と人権の歌「いのち輝くまち」の合唱が行われました。松前中学校人権委員の藤本賀暖さんは「差別をなくすために、自分のできることをしていきたい」と話していました。



美しい写真で魅力発信
夕陽物語 2025/2026

町内在住の稲垣優さんは5月18日、塩屋海岸の魅力を伝えようと、夕陽や夕景を収録したフォトブック「夕陽物語 2025/2026」を町に寄贈しました。これは、令和7年10月～令和8年3月11日までの5カ月間、稲垣さんが毎日塩屋海岸に通って撮影したものです。日や時間によってさまざまな姿を見せる夕陽の美しい写真が収録されています。このフォトブックはふるさとライブラリーで見ることができます。ぜひご覧ください。



きれいな花が咲くのが楽しみ
伊予農高生が花壇を植え替え

伊予農業高等学校園芸流通科の3年生12人は5月29日、授業の一環で役場玄関前の花壇の植え替えを行いました。今回植えられたのは、300株のポーチュラカです。園芸科の松井風さんは「花と花の間隔を均等に植えるように気を付けた。これからもっときれいに咲いていくから、町の皆さんに見てもらいたい」と話していました。



熱戦を展開
第47回松前町ソフトテニス大会

「第47回松前町ソフトテニス大会(小・中学生の部)」は5月2日、松前中学校で行われました。結果は下のとおりです(敬称略)。

優勝		準優勝		3位	
三好 彩文	伊藤 那歩	阪本 彩夏	古田 芭那	福住 瑚晴	船山千咲葵
				榊山 香綾	政田 心菜



命を救うために
岡田中学校救命救急講習

6月8日～11日にかけて、岡田中学校の2年生を対象に、保健体育の授業の一環で救命救急講習が行われました。

生徒たちは、AEDの使い方、人工呼吸や胸骨圧迫を行う上での注意点を松前消防署の職員から教わり、実践しました。大西菜々子さんは「心臓マッサージが想像以上に力が必要で難しかった。もし倒れている人がいたら、冷静になって自分にできることを最大限やろうと思う」と話していました。



おいしいパンのできあがり
みんなの食堂・パン作り体験

6月7日、大念寺で子ども食堂「みんなの食堂」が開催され、近隣住民など多くの人が訪れました。

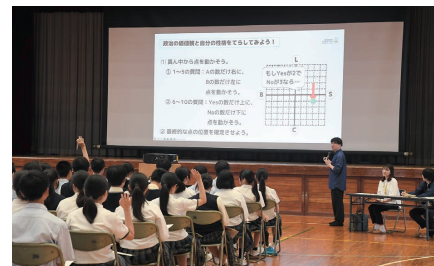
これは大念寺とNPOみんなの食堂すまいるきっちんが毎月第一日曜日に開催しているものです。今回は町青少年育成協議会によるパン作り体験も行われました。参加者はポリ袋に入れた材料を混ぜ、発酵させて生地を作り、パンを焼き上げました。安藤颯香さんは「袋をもみもみするの楽しかった。おいしいパンになると思う」と話していました。



18歳、選挙参加に意欲
伊予高等学校選挙啓発講座

伊予高等学校は5月28日、講師に一般社団法人WONDER EDUCATION 代表の越智大貴さん、県・町選挙管理委員会を招き、選挙啓発講座を行いました。

この講座は、18歳で成人となる高校3年生を対象に、主権者教育の一環として行われたものです。生徒たちは、クイズや簡単な診断を交えながら選挙や政治について学びました。生徒は「自分たちの意見や行動が社会をより良くするために大切だと学ぶことができたと感想を述べていました。」



大きくなって帰っておいで
アユの稚魚を放流

重信川漁業協同組合(村上唯一代表理事組合長)は5月26日、重信川の出合橋の河川敷でアユの稚魚60キ口約7500尾を放流しました。

これは、自然環境の保護育成を図るため同組合が実施しているものです。出合橋の河川敷では、白鶴保育所の園児15人が放流の一部を手伝いました。園児たちは「大きなあれ」と声を掛けながら、アユを楽しそうに放流していました。西岡慶翔さんは「楽しかった。大きくなってほしい」と話していました。



自分の選んだ本が図書室に
松前中学校「マイブックプロジェクト」

松前中学校3年生の「マイブックプロジェクト」がスタートし、6月11日に町内の書店で本を選ぶ作業が行われました。

これは、子どもたちに本へ親しみを持ってもらうことを目的に行われているものです。生徒たちは友達、先生や書店のスタッフと相談しながら本を選びました。選んだ本を読み、その本を紹介するA4サイズの学習新聞を作成した後、年度末には学校の図書室に所蔵される予定です。宮内心織さんは「この日を楽しみにしていた。選んだ本をみんなにも読んでほしい」と話していました。



初めましてでもゲームで楽しく交流
世代を超えて e スポーツ交流会

6月10日、西公民館で「世代を超えて e スポーツ交流会」が行われました。

リズムゲームやパズルゲームなど3種類のテレビゲームが用意され、子どもたちを中心に楽しく対戦して遊びました。北伊予小学校2年生の加藤颯真さんは「対戦することが楽しかった。また行きたい」と話していました。

次回は7月15日の16時から西公民館で開催予定です。東・北公民館でも1回開催しています。詳細は学校で配布されるほか各公民館に設置しているチラシを確認してください。



私たちのまちをきれいに
第56回郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は6月6日、塩屋海岸、北黒田・新立海岸、松前港内港をはじめ町内各所で行われ、子どもから大人まで約3千人が参加しました。

この清掃は、環境を保全し、自然保護の心を継承するために昭和45年から行われているもので、今年で56回目となります。みんなで協力して約6.8トンの可燃ごみと約2.4トンの不燃ごみを集めました。

清掃後、参加した皆さんはきれいになった景観を見て、達成感に満ちた表情になっていました。



本物の消防車に大興奮
あそび工房「本物の消防車に乗ってみよう！」

こども家庭センター「はぐはぐ」が主催するサークル・あそび工房は5月29日、「本物の消防車に乗ってみよう！」を松前消防署で開催し、未就園児とその保護者20組が参加しました。

子どもたちは消防士の話を聞きながら、消防署内の見学、放水体験や消防車・救急車の乗車体験など、特別な体験を楽しみました。





おいしいお米になりますように 青葉幼稚園・北伊予小学校で田植え

6月16日、青葉幼稚園の年中・年長クラスの園児と北伊予小学校5年生は、それぞれ幼稚園と学校の近くの水田で田植えを行いました。

これは食の大切さを学んでもらい、関心を持ってもらうことを目的に毎年行っているものです。子どもたちは、地域の人たちに教えてもらいながら苗を植えました。青葉幼稚園の岡光莉さんは「みんなが元気になるようなおいしいお米になってほしい」と話していました。



㊦ 一本一本丁寧に植えていく
(北伊予小学校)
㊧ 徳丸農業区の皆さんに教わりながら(青葉幼稚園)



スケートボードしようぜ！ 松前町スケートボードスポーツ少年団

町スポーツ少年団に5月から新しく「スケートボード」が加わりました。これはアーバンスポーツパークの整備の検討が進められる中、スケートボードを始める子どもたちが増加していることを受けて設立されたものです。継続的に活動できる環境を整備し、スケートボードの技術向上と地域スポーツ活動の発展を目的としています。

子どもたちは、指導者の宮内さん、スケートボード経験がある保護者や団長の黒田さんに教わりながら、基礎練習をした後、それぞれが身に着けたい技を楽しそうに練習していました。黒田珠之さんは「友達と一緒にスケートボードができて楽しい」と話していました。

活動の様子は団公式Instagram(右のQRコード)から確認できます。



団長 黒田千鶴さん

練習場所がないなどの理由でスケートボードをやめてしまう子も多い。コツコツと練習できる場所になることができたらと思う。



指導者 宮内拓也さん

今までスケートボードに触れたことがない子も自由に楽しく活動している。気軽に体験に来てほしい。

経歴 競技歴27年。日本スポーツ協会公認スタートコーチ資格取得。第16回伊予小松ライオンズカップスケートボードコンテスト1位。



▲スケートボード仲間募集中！



▲丁寧に指導中



▲カッコいいスケーターを目指して

- 対象 小学校1年生～6年生
- 練習日時 毎週水曜日 16時～18時
※ 指導者の参加は不定期
- 練習場所 コジパーク(大字浜876番地)
- 費用 年間4,500円+練習参加1回につき500円
- 入団方法 下の問い合わせ先に連絡してください。
※ 見学・体験も随時行っています。Instagramからお問い合わせください。
- 活動内容 基礎練習、技の練習やミニゲームなど
- 問い合わせ 社会教育課スポーツ振興係 ☎985-4138

